

巻 頭 言

院長 西土井英昭

近年は毎年のように全国あちこちで災害が発生しています。災害の原因も多種多様になっており、今年は地震のみならず台風、豪雨で避難生活を余儀なくされている方々が少なくありません。当院からも30年7月豪雨に対しては救護班が出動しました。赤十字病院としていつでも出動できる体制を整えておかなければならないと改めて感じています。

また、今年5月に当院は新病院に変わりました。外来の受付が変わり入院病棟も全て新しくなり、放射線技術課、薬剤部、リハビリ課、ME、医事課など多くの業種が本館に移動しました。患者さんのみならず職員も当初は戸惑いがあったと思います。患者さんが喜んで通院し、職員も輝いて働ける病院が出来たと思っていますが、多少不便なところや分かりにくいところなどがあると思います。これから皆で運用を確立し新しい病院に命を吹き込んで将来に活かせるようにしていただきたいと思います。

さて、鳥取赤十字病院医学雑誌2018が完成しました。ハードだけでなくソフトが優れていなければ患者さんから選ばれる病院にならないと思います。是非、全ての職種が日々の業務の中でテーマを見つけて文章にしていきたいと思います。よろしくお願いします。

2018年11月吉日